

## 【22\_099/思考系メルマガ】「迷う」トレードがなぜダメなのか

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

今回のメルマガでは、いつもいつもしつこく僕が『トレードは決める事だ』と言っている  
核心的な理由に繋がる話をしていきます。

□  
└─ ■ 一貫したトレードの最大の天敵は「迷い」  
└──────────────────┘

先日ツイートした内容になりますが、常に『一貫性』を持ったトレードをするうえで  
最も大事なことは『迷わず決める』ということです。

▼当時のツイート▼

[https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1511654456118718467?s=20&t=PK9SW-pA7WfXOLvrJ\\_YiQA](https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1511654456118718467?s=20&t=PK9SW-pA7WfXOLvrJ_YiQA)

あまりインパクトのある話ではないので、注目されづらい内容にはなりますが(笑)

先日のメルマガでもお伝えした『リスク管理』を含む

『エントリーの形(こうなったら、こうする という決め事)』であったり

『決済のルール(どこで利確・損切りするか)』をトレードすることにイチから考えずとも

すぐ判断できる状態を作る事で「迷い」を減らす事が出来ます。

勿論、完璧にゼロにする事は不可能ですが、少なくとも必要以上にエントリーや決済に「悩む(迷う)」という事はなくなっていくはずですよ。

□  
└─ ■ なぜ「迷う」のか？

では、そもそもトレードで「迷う」という状態が何故生じるのかを整理し  
そこから対策を考えてみましょう。

まず、トレードにおいて「迷う所がどこか？」を考えてみると大抵は  
「どこでエントリーするか？」

「どこで利確 / 損切りするか？」

もっと悪くすれば「そもそもここでエントリーしてよかったのか？」と

すでにアクションを起こしてしまった後で「迷い」が生じるという人も多いでしょう。

このような迷いが生じる根本の原因は

「何とかこのトレードで利確したい」「何とか損切りしないで済ませたい」

「なるべく伸ばせる利なら伸ばしたい」

といった、相場の不確実性を無視した「自分の都合」に囚われてしまっている事にあります。

これらの意識はトレードにおいて「あってはならない事」と言われますが

「分かっているもついやってしまうんだよなあ・・・」というポイントでもあると思います。

この「ついやってしまう」原因こそが「決めずに都度“迷う”事なのです。

当たり前ですが、損切りなんてしなくて済むならその方がいいと皆思っていますし

何とかうまく立ち回って、利益を取って終わればそれに越したことはありません。

ですが、相場の原理原則が『確率論』に支配されていると認識する以上

どう立ち回っても負ける(=損切りになる)事は避けて通れないものであり

そういう意味では、損切り自体は『必要経費』として捉える事が必要になります。

そこで、今日のテーマに戻ってくるわけですが

エントリーの方法と同じように、常に一定の条件で『利確 / 損切り』を行うルールを決めることで  
トレードする際に自分の中で「迷う要素」を極力減らす仕組みを作っておくことが必要なのです。

しかしこれはなかなか、考えているだけでは実感がわきにくい問題です。

しかも、世の発信を眺めやる限り、そもそも自分が「利確できなかったトレード」をわざわざ僕のように発信する人も少ないので

『負けた後の立ち回り』を学ぶ機会というのはなかなかありません。

これを実際にしっかり自分のモノ(技術)にしようと思うのであれば

『フォワードテスト』を通じて自分の収支をリアルタイムで把握し、無駄なトレードの要素を削る工程を頭に叩き込み

『常に決めて迷わないようにする意識』を刷り込むのがベストです。

とはいえ、他の誰もやらないのであれば、僕らは先陣を切って決めごとの中でトレードをし

立ち回る考え方を実践的にお伝えできるよう、今後も頑張っていきます。

是非皆さんにもその想いを共にして貰えたら嬉しく思います。